

新「共通特論Ⅱ」：臨床腫瘍学各論 個別化医療を可能にする白血病治療

講義日：2022年11月19日（土）

講師：田中 宏和（近畿大学医学部 血液・膠原病内科部門 准教授）

要旨

白血病は、臨床経過や起源の細胞系列により急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病に大別される。近年の大規模な omics 解析の結果、各白血病の発症や進展に関わる分子遺伝学的な特性が明らかにされ、白血病の適切な診断、新たなリスク評価、治療薬の選択へと応用されている。また、これらの情報をもとに新たな分子標的薬、抗体薬が開発され、次々と臨床応用されている。さらに、CAR-T 細胞療法などの免疫療法が、現行の成績を遙かに凌ぐ新たな治療法として注目を集めており、これまで難治とされてきた白血病治療のパラダイムが大きく変わろうとしている。本講義では、成人の急性白血病を中心に、現在までに解明された白血病の病態、治療の現状と課題、および個別化治療に向けた新たな試みについて概説する。また、白血病治療の実践には、多職種によるサポート体制が必要であり、当院での現状と課題についても紹介する。